

子ども司書へインタビュー &先生&家族

どんどん世界が広がります！

1期生 瀬沼さん

子ども司書活動はすごく楽しいです。特に夏休みに行った「予約本集め」は、宝探してみたいでワクワクしました。小さい子に読み聞かせをした時は、反応が面白くて楽しかったです。子ども司書に応募しようか迷っている人へは、ぜひおすすめしたいです。色々な人と交流できるし、普段読まないジャンルの本にも出会えてどんどん世界が広がりますよ！



もっと本が好きになれます！

2期生 木村さん

これまで子ども司書活動は10回くらい参加しました。普段できないことを体験でき、違う学校の子たちと一緒に活動するのが楽しいです。心に残っているのは、宮川幼稚園での読み聞かせ。自分が幼稚園の時に好きだった本を2～3人の園児に読んだらみんな真剣に聞いてくれて嬉しかったです。頑張ったことは、大人の前で発表したこと。普段そんな機会がないので緊張しました。子ども司書に応募しようか迷っている人へは「本がもっと好きになれるから、ぜひ参加してほしい」って伝えたいです。



山手小学校では、7人の子ども司書が誕生しました。5年生の学級では、毎週月曜日に子ども司書が本の読み聞かせをしています。図書館へ行って読み聞かせの本を選ぶとき、みんなが楽しめる内容を意識しているそうです。子ども司書の活動は、人とかかわる読書活動を充実させ、読書に親しむ子どもたちの育成に大きくつながると考えています。



山手小学校 井岡祥一 校長

読み聞かせがとても楽しいです！

1期生 清水さん

子ども司書活動は中学校の勉強や習い事で忙しいときもあるけれど、やっぱり楽しい！図書展示用の本を探すために書庫で本を選ぶのが好きです。心に残っているのは、放課後児童クラブで読み聞かせをしたこと。子どもたちの反応がダイレクトに伝わってきて、すごく楽しかったです。学年を超えて友だちの輪が広がります。皆さんもぜひ体験してください。



こどもが司書活動をすることで、私の方が刺激をもらっています。「今度この絵本を読み聞かせするんだ」と子ども司書の活動の話が家族の会話にもなり、良い時間を過ごせています。

小さい子や大人に読み聞かせをする機会は、こどもにとって貴重な経験。本を通じて誰かに伝える力を育てているのを感じ、とても嬉しくなります。 —清水さんのお母さん

今年度誕生した「子ども司書」3期生の皆さん



POPで紹介「子ども司書」おすすめ本

2期生 丸山さんおすすめ
『吾輩も猫である』
赤川次郎ほか/著 (新潮社)

1期生 澁谷さんおすすめ
『てぶくろが いっぱい』
フローレンス・スロボドキン/文 (偕成社)

子どもたちが自分たちで読書の楽しさを伝える「子ども司書」の活動。家族や先生方の支えを受けながら、その輪は確実に広がっています。本を通じて人とつながる喜びを知った子どもたちが、これからどのような未来を描いていくのでしょうか。図書館から生まれる新しい物語に皆さんも参加しませんか？ 広報紙やホームページでお知らせします。



広報番組「あしやトライあんぐる」の『子ども司書』特集はYouTubeでご覧になれます。

